

特集
座談会

働き方改革

建設業は一品受注生産で現地屋外生産のため常に施工場所が変わり、その作業現場状況や天候にも影響されます。労働集約型産業であり、しかも労働環境が3K（きつい、汚い、危険）と言われてきたことで若年層の入職者が少なく、さらに高齢化が顕著なため将来的な担い手不足が喫緊の課題となっています。建設業には発注者・元請・専門業者・作業員、さらには資材業者といった従事者が重層構造となっているため下層に負担が大きくなる構造です。このように建設業界の働き方改革には多岐にわたる課題が存在しています。本座談会では建設業の重層構造のそれぞれ違う立場ではありますが、「共に解決に取り組む仲間」として罰則付きの時間外労働の上限規制の適用開始などの働き方改革に対する意識の違いを認識し共有できればと思います。

横田：(公社)日本推進技術協会の横田です。本日は働き方改革をテーマにした座談会のためにお集まりいただき、誠にありがとうございます。我が国推進業界の先人達が築き上げた世界に冠たる最高位の推進技術をいかに次世代へ継承するため、若手の担い手が必要です。それには、国が主導する働き方改革を進めなければなりません。建設業には発注者・元請・専門業者・作業員といった従事者が重層構造となっており、建設業に関わるすべて立場の方が働き方改革を実施し、建設現場をよ

り良い働き場としなければなりません。

本日は、発注者と元請、専門業者、資材業者の立場の方々にお集まりいただきました。本席上では忌憚のないご意見をお話いただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

まずは、自己紹介を兼ねて、これまでの簡単な経歴と今のお立場で、どのような業務をなさっているのか、私の右側の方から順にご紹介ください。

毛利：東京都の毛利です。平成5年度東京都庁に入

国土強靱化にかかすことのできない 建設業にいかにか若者の労働力を確保するか 働き方改革によって実現することを願う

よこた としひろ
横田 敏宏
(公社)日本推進技術協会
専務理事

庁し、下水道局の建設事務所を皮切りに、建設局河川系部所、その後下水道局に戻り、(公社)日本下水道協会などを経て、現技術管理担当課長に至っております。下水道局内では、永らく推進工事を含む管きよ整備の設計や工事部所に長らく従事してきました。また、現在の技術管理担当では、下水道全般の技術基準類を所管するとともに、働き方改革に関わる局内取りまとめも行っております。本日はよろしくお願いいたします。

磯田：横浜市の磯田です。今年で入庁22年目を迎えます。これまで、下水道の計画から設計、維持管理に至るまで幅広く携わってきました。推進工事についても小口径から大中口径の設計はひと通り経験しました。いち時期、他事業局も経験しましたが、下水道部署が一番長いです。技術監理課は、技術基準類を所管する部署として、適宜、更新を行うとともに、安全管理、工事検査など、局の技術監理全般を担う部署です。また、本日のテーマである働き方改革の取り組みについて、局内のとりまとめとしての役割も担っています。本日はよろしくお願いいたします。

中島：昨年5月に国土交通省から(地共)日本下水道事業団(以下、JS)に出向で参りました中島です。現在は事業団本社事業統括部にて、土木・建築担当の調査役として、土木・建築に関する技術基準に関する事務を担当しています。本日はよろしくお願いいたします。

中嶋：三井住友建設(株)の中嶋です。私は入社してから35年目になりますが、現場を18年、管理部門を16年ほど経験してまいりました。現場は橋梁工事が主体でしたが、土工事、都市土木工事、海外工事等も経験してお

ります。現在は、土木部門全体の工事を統括し、まさに「働き方改革」を主導することが職務となっています。本日はよろしくお願いいたします。

加取：鉄建建設(株)の加取と申します。私はこれまで、推進工事、シールド工事、鉄道(駅改良)工事を主に手掛けてきました。今年の5月まではベトナムで下水道(推進)工事を担当し、現在は本社の土木本部機電部において、推進工事やシールド工事に関する技術開発や現場支援、機電職社員の人材育成などを担当しています。本日はよろしくお願いいたします。

木村：機動建設工業(株)の木村です。私は当社の事務部門に長く携わり、現在は総務・人事・経理・情報システムなどを統括する管理本部で本部長を務めております。本日はよろしくお願いいたします。

児玉：ベルテクス(株)の児玉と申します。平成4年に管材メーカーである日本ゼニスパイプ(株)(現ベルテクス(株))に入社以降、30年以上工場に勤務し主に大型土木製品の生産管理、品質管理業務に従事してきました。この春より生産本部配属となりましたが、直近まで工場勤務でしたので、建設業、運送業を含めた労働環境の実態については、ある程度把握しているつもりです。今回は「働き方改革」がテーマということで、建設現場同様に厳しい労働環境にある業界の生産現場目線で、参加させていただくことになりました。本日はよろしくお願いいたします。

横田：皆様ありがとうございました。それぞれのお立場が分かったところで、つぎに、本日のメインテーマである、働き方改革の現状と具体的な取り組みをお聞かせください。時間外労働については、4月1日を境に以前は努力